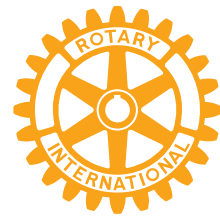


2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 11

Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨 義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com http://rid2510.org



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

第2510地区
重点課題

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●世界で良いことをしよう	2
●ローターアクト地区協議会	4
●ガバナー公式訪問報告	5
●ロータリー、来し方行く末	10
●5年ぶりの地区大会雑感	12
●広報委員会よりお知らせ	13
●ポリオプラス委員会より/文庫通信	14
●2018-2019年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い/米山奨学生のご紹介	15
●新会員のご紹介/訃報	16
●地区カレンダー	17
●出席率・会員数	18



地区大会ではお世話になりました

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

本年度の地区大会を10月3日、4日、岩見沢で開催させて頂きました。たくさんの皆様からご登録、ご参加を頂きました事に心より感謝申し上げます。地方都市での開催という事で施設面やアクセス等でご不便をかけたり、さらには天候にもひやひやさせられたりしましたが皆様のご協力のおかげで無事、終了することができました。またホストクラブはじめ栗沢クラブ、岩見沢東クラブの皆様、そして地区役員、委員会の皆様にも大変なご活躍を頂きました。本当にありがとうございました。

公式訪問もおかげさまで順調に進み、あと11クラブ、11月26日の岩見沢が最後となる予定です。頑張っまいますので引き続き宜しくお願い致します。

さて11月はロータリー財団月間です。財団と言うと「また寄付か」と思われる方も多いと思います。確かに我々は「Every Rotarian, Every Year」のもと寄付推進活動を行っています。これは財団の年次基金に寄付することをすべてのロータリアンに奨励することとなっています。同時に財団のプログラムや補助金に参加することをすべてのロータリアンに奨励する事ともなっています。

未来の夢計画も3年目に入りシェアシステムへの理解も進み、地区補助金の活用も活発になってい

ます。昨年度は20クラブから490万円の申請があり355万円を補助、今年度は31クラブから970万円の申請があり445万円の補助を決定させて頂きました。各クラブでの社会奉仕活動プロジェクトの内容を見ると、大変多岐にわたりそれぞれ各地のニーズに基づいた素晴らしい活動ばかりです。残念ながら満額補助とはいきませんがこの点はお許しください。

ロータリー財団の標語は「世界で良いことをしよう」です。ポリオプラスやロータリー平和フェロシップそしてグローバル補助金を活用した国際的、人道的プロジェクトだけでなく皆様が日々活動している奉仕プロジェクトに対してもロータリー財団の補助金は出番を待っています。今、ロータリー財団のシステムでは寄せられた年次寄付の50%が3年後に地区財団活動資金(DDF)として使用できます。そしてその中から皆様のクラブへの補助支出が出来る事となっています。是非ご理解を頂き引き続きロータリー財団へのご協力をお願い致します。

雪の便りもちらほら聞かれる季節となりました。ご健康に留意され益々ご活躍されますことを願っています。



世界で良いことをしよう

地区ロータリー財団委員会

委員長 **遠藤 秀雄** (登別RC・PG)

表題はロータリー財団の標語です。

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

1917年アーチ・クランプがRI会長としてアトランタ大会で大会の剰余金26.50ドルを資金に「ロータリー基金」を立ち上げたのがロータリー財団の始まりであります。財団への寄付によって、ロータリー創立者を称えたいとの願いから、1957年ポール・ハリス・フェロー (P・H・F) 制度ができました。そして、ロータリー創立100周年までに約100万人のP・H・Fが誕生しています。

ロータリー財団への寄付は使途指定寄付、恒久基金への寄付、年次基金への寄付などいろいろな方法があります。公益財団法人ロータリー日本財団を通して寄付されると税制上の優遇措置が受けられます。ロータリー財団に寄付された浄財はすべて奉仕活動に使われます。

ロータリー財団の奉仕活動は従来は教育的プログラムと人道的プログラムに大別され、それぞれに補助金が配分されていましたが、2013年度から大きく変わり新しい補助金制度となりました。地区補助金とグローバル補助金に簡素化されました。地区補助金は地区又はクラブに裁量権がゆだねられ、地域社会に対して奉仕活動がしやすくなっています。各クラブは早めに計画をご検討いただきたいと思います。グローバル補助金の活用には6つの重点分野が決められています。

「平和と紛争予防／紛争解決」

「疾病予防と治療」

「水と衛生」

「母子の健康」

「基本的教育と識字率の向上」

「経済と地域社会の発展」

これらの重点分野を考慮しながら活動計画を立てて頂きたいと思います。その際プロジェクトの持続可能性と成果が求められますのでご注意くださいと思います。

今年度地区ロータリー財団委員会は財団補助金委員会、財団資金推進委員会、奨学金委員会、財団学友委員会、ポリオプラス委員会から成り立っています。実際の活動は地区組織図の奉仕プロジェクト委員会と密接な連絡を取り側面から援助をする形をとっています。

ロータリー財団管理委員会の2015年から3年間で取り組む優先項目

1. 永久にポリオを撲滅する。
2. ロータリー財団に対するロータリアンの知識・参加・寄付を向上させる。
3. 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
4. ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

第2510地区の活動計画は以下の5点です。

1. ロータリー財団管理委員会の優先項目に協力する。特にポリオ撲滅に協力する。
2. 「毎年あなたも150ドルを」に協力します。
3. ロータリー平和センター・プログラムの推進に協力しよう。
4. ロータリーカードの入会に協力しよう。
5. ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めよう。

今年度の地区補助金は76,540.00ドルでした。日本円に換算すると900万円になりますので地域社会奉仕活動に450万円、奨学金、災害復興支援、国際奉仕活動等に450万円を配分いたしました。

ポリオプラス基金への寄付は昨年度各クラブからいただいた多額の浄財の他にDDFの20% (31,500ドル) とポリオデーのために10,000ドルを寄付しましたが、今年度もDDFの20%を寄付し、1日も早いポリオ撲滅に協力してゆきたいと考えています。

地域社会奉仕活動補助金に対しては各クラブのご協力により昨年度の報告提出率は100%となっています。ロータリー財団はロータリアンの寄付金で成り立っている組織です。そして国際ロータリー活動のエンジンとなっています。これからも皆様のご協力をお願い致します。

ローターアクト地区協議会 報告

ローターアクト地区広報

北村 秀美 (千歳RAC)

9月5日、千歳ローターアクトクラブがホストのもと、第43回ローターアクト地区協議会が千歳市北ガス文化ホールにて開催されました。

今回は「ローターアクトがつなげる人夢」というテーマのもと、プログラムとして現在恵庭ロータリークラブ所属でパスト地区代表であります西村英晃様、本年3月に結成されました東京池袋ロータリークラブ・ローターアクトジャパン代表小美野義一様をお招きし、ローターアクトに関してのご講演をいただきました。

現在恵庭ロータリークラブ西村英晃様は一昨年まで、千歳ローターアクトクラブ会員だったこともあり、「一度きりの人生～○○のために～」というテーマのもと今までの活動してきたことや自身が学んできた事など解りやすくお話してくださいました。

ご自身が高校時代にロータリークラブのYEPプログラム、交換留学生に参加したのをきっかけにROTEXとなりそこからローターアクトクラブやロータリークラブとの出会いがあるとの紹介をされていました。

終わりには、「自ら積極的に活動し今しかできないことを全力でやってほしい。人に言われて活動するのではなく。」と語っておられました。東京池袋ローターアクトクラブ・ローターアクトジャパンの小美野義一様は「夢を描く新世代～その先へ～」というテーマのもローターアクトクラブの魅力と楽しみ方、クラブや地区発展の秘訣をお話くださいました。ローターアクトクラブへのきっかけは東日本大震災発生後何かできないかとローターアクトクラブの入会を決意され、当時入会したクラブが2名しかおらずロータリアンにも知られてないクラブだったということ、そこから会員数を3倍に増やすことができたことなど、ご自身の成功例や体験談をもとにお話をされ、終わりには「アクトでやりたいことを積極的に挑戦し責任をもってやり遂げてほしい」と語っておられました。

今回このように、ローターアクトの先輩からローターアクトクラブの知識や情報を直接聴けるというのは普段、ローターアクトクラブとして活動している中では中々できない体験だと思っております。

アクトとして活動している中では、大変なことも多いですが、地区行事や様々な活動を通して、アクトとの交流や各クラブでの活動をすることで少しでもローターアクトクラブの楽しさや魅力などが感じられると先輩から後輩へと思いや魅力が伝え続けられるのではと感じました。

講演終了後には、両講師に謝辞、記念品が贈られ、石山嘉治地区ローターアクト委員長よりご講評頂き第43回ローターアクト地区協議会は閉会しました。



ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますのでご了承下さい。

岩内ロータリークラブ

8月20日

8月20日(木) 嵯峨ガバナー、長田地区幹事、江本地区幹事補佐、斎田ガバナー補佐、事務局 湊様をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。



午前10時より開催された会長・幹事懇談会では、斎田ガバナー補佐の司会進行で、井戸会長より当クラブの最重要課題である会員増強について、今期すでに2名の会員増加になったこと、引き続き「ポリオ撲滅」に様々な機会を通じて取り組むこと、また岩内独自の奉仕活動である「手作り絵本コンクール」、財団の寄付を多くの会員に募るための「チャレンジプログラム」などを説明しました。

11時から開催されたクラブ協議会では、各委員長が活動計画を発表し、嵯峨ガバナーから、岩内独自の方針にとっても共感して頂きました。とくに会員増強も大事だが、維持に力を注ぐ「火の用心部隊」が必要だと力説されていました。

12時半より嵯峨ガバナーをはじめ5名のお客様を囲み、楽しい昼食をとった後、通常例会に移り、嵯峨ガバナーよりとても有意義なお話を伺いました。最後に井戸会長より謝辞が述べられ、公式訪問は終了しました。

嵯峨ガバナーはじめ皆様には、ご多忙中にもかかわらず遠路、岩内までお出で頂き、会員一同とても感謝しております。ありがとうございました。

伊達ロータリークラブ

8月25日

嵯峨ガバナーと山本・赤山地区幹事、守谷ガバナー補佐、林補佐幹事をお迎えして8月25日ガバナー公式訪問が行われました。午後3時30分



より伊達市菊谷市長への表敬訪問を行い、地区大会における地域のリーディングカンパニーの出席の協力要請や、地域における人口減の問題等を協議しました。4時30分からは会長・幹事懇談会が行われ、小熊会長から、当クラブの戦略計画の説明を行い、クラブの現状や方向性、目標について議論いたしました。5時30分から当クラブ協議会を行い、理事・役員・委員長出席のもと各委員会より活動計画が発表され、ガバナーから懇切丁寧な講評があり終了しました。

その後、6時30分より、例会が行われ、嵯峨ガバナーから卓話を頂き、女性会員入会の促進、地区大会での新会員セミナーの開催や、ラビンドランRI会長の紹介、ポリオ撲滅に向けてのロータリーの活動など詳しく解説されました。嵯峨ガバナーの気さくなお人柄もあり終始和やかな雰囲気です。例会及び懇親会を進行し、最後に「手手つないで」を斉唱し終了しました。沢山の有意義な卓話を頂き会員一同心より感謝申し上げます。

洞爺湖ロータリークラブ

8月27日

「せっかくの少人数です。キャッチボールしましょう。」嵯峨義輝ガバナーのその言葉から洞爺湖町への表敬訪問後の8月27日、洞爺湖ロータリー



クラブ公式訪問が始まりました。

ガバナーはじめ、山本公彦、赤山登地区幹事、第9グループ 守谷保夫ガバナー補佐、林正樹補佐幹事におかれましては過密スケジュールの中の訪問心より感謝申し上げます。

会長・幹事懇談会に引き続き行われた理事協議会(我がクラブは会員全員理事)では、最初のガバナーのお言葉通り、各々の自己紹介から始まりクラブの窮状の訴えに対して、具体的なアドバイスで返球して頂きました。ガバナーそして2人の地区幹事さんのお人柄に甘え、当クラブ会員も少し喋り過ぎた感も、無きにしも非ずですが、楽しくそして有意義なキャッチボールのうちに例会へと移行し、さらにロータリーの友情を深めさせて頂きました。

嵯峨ガバナー。バスケットボール、野球で鍛えたお身体とは言えハードスケジュールです。くれぐれも健康にはご留意下さいますよう、クラブ会員一同祈念申し上げます。そして地区大会お世話になります。

札幌南ロータリークラブ**9月14日**

嵯峨義輝ガバナー、佐藤泰彦ガバナー補佐、五十嵐閣地区代表幹事、北市宗三地区財務委員長の4氏をお迎えしてガバナー公式訪問がスタート



しました。

10時からのクラブ会長・幹事懇談会は、当クラブから会長、幹事の他、会長エレクト、副幹事が出席し、佐藤ガバナー補佐の司会進行により和やかな雰囲気の中で始まりました。

まず、会長から当クラブの概要や特徴、今年度のクラブテーマや重点目標について説明をいたしました。特に当クラブが誇りとする基本精神「なごやぎ」の意味、来年は6月にクラブ創立60周年を迎えるとともに、次年度10月の武部ガバナー年度地区大会の準備という大変忙しい年度となること、また重点目標として「未来を担う子供や青少年の健全な育成を図るプログラムを推進する」を掲げ、社会、国際青少年奉仕各委員会の活動や周年記念事業として実践していく旨の説明をしました。嵯峨ガバナーからは「創立以来『なごやぎ』というしっかりとした精神基盤をもって運営してきたクラブは他にないのではないか、素晴らしいことだ」との言葉を頂きました。また「My Rotary」活用の状況について質問があり、当クラブに限らず地区全体の課題であるとお話がありました。

11時からはクラブ協議会が開催され、各委員長から今年度の活動計画と実施状況について説明がありました。これに対し嵯峨ガバナーから各委員会それぞれに対する丁寧な講評がありましたが、特にMy Rotaryの窓口の確認と積極的活用について要請を頂きました。

12時30分からガバナー他3氏をお招きしての例会が開催されました。通常の例会行事の後、メインプログラムとして嵯峨ガバナーの講話を頂きました。

その中でガバナーはロータリーに関して3つの視点からお話しをされました。

1点目はポリオ撲滅に対する国際ロータリーの貢献、2つ目は会員増強がいかに重要か、3つ目はロータリーの四大奉仕に「家庭奉仕」を足した五大奉仕を実践してほしいという印象深い内容の講話を頂きました。

札幌真駒内ロータリークラブ**9月16日**

秋晴れの9月16日(水)、嵯峨ガバナーほか、佐藤ガバナー補佐、武蔵地区幹事、江本地区幹事補佐をお迎えし公式訪問が行われました。



「ロータリーの友」誌は購読義務があるとはいえ、余り利用されていない現状を踏まえ、会長・幹事懇談会では、誌の利用の仕方を話題とさせていただいたところ、岩見沢では月に1回、例会時に担当者が記事の紹介を5分程度行っていると教えられ、当クラブも直ぐに実行することをお約束しました。

協議会では、第2510地区の地区目標である「My Rotary」の登録について協議され、ガバナーからは、今後の情報開示はすべてMy Rotaryによると決められており、少なくとも会員の4割は登録するように指示され、当クラブでも重点的に登録を推進していくこととしました。

例会では、ガバナーから日本兵がペリリュー島で最後まで村民の命を守ることに徹し、村民から誰ひとり死者が出なかったことが今でも村民に語り続けられていることなどが紹介されました。奉仕の精神とはどのようなものか。感銘深いご講話をいただき感謝申し上げます。

ガバナー補佐が当クラブの会員でもあったこともあり、ガバナーとは本当に気さくにお話させていただきました。また、例会での新会員の入会式では、ガバナーから会員にバッジを付けていただきました。

ロータリーの精神をわかりやすく話されるガバナーの謙虚なお人柄も忍ばれ、とても意義のある、そして楽しい時間があっという間に過ぎました。ありがとうございました。

札幌東ロータリークラブ

9月17日

9月17日(木) 9:45に札幌パークホテルに嵯峨ガバナー、長田地区幹事、菊谷地区幹事補佐がおみえになり、池田会長がロビーにてお出迎えをいたしました。

3階羽衣の間にて会長・幹事懇談会が、11:00まで長田地区幹事の進行で行われました。

まず事前にクラブ協議会と例会の事務連絡から始まり、池田会長より札幌東ロータリークラブの現状、現在感じられている問題点とこれからの展開についての話をされ、それに対してのガバナーからのお話を頂きました。

ガバナーからは、当クラブの現状などの話を聞いて、「大きいクラブなので心配事が無いと思っていましたが、そうではないんですね。」と少し驚かされていました。またMy Rotaryの登録を推奨していただきたいと言うお話し等をされていました。最後に幹事からなにかありませんかと言うお話がありましたが、やはり年度が始まる前の予算練りが大変ですなど話をさせていただきました。

11:00から高砂の間でクラブ協議会が開催されました。会長挨拶、来賓のご紹介、出席者紹介、ガバナー挨拶、各委員会からの活動内容の発表、ガバナー講評、そして閉会、写真撮影と進んでいきました。ガバナー講評の中で、My Rotaryの登録の件と会員増強委員長からの力強い発表についてガバナーから激励のお言葉を頂きました。

12:30から例会場においてガバナーをお迎えしての例会が始まりました。この例会で新入会員2名を迎えることになりガバナーよりバッジの授与が行われました。そしてガバナーの卓話に移り、卓話の中で「奉仕とは親身になること」「ロータリークラブは、寛容な団体である。ロータリアンは寛容でなければいけない。」と言うお話がありました。

最後に国際ロータリーの第一目的は、ポリオの撲滅であり、民間団体で世界的に立ち上がったのはロータリーだけであり、ロータリーに誇りを持っていただきたいと言うお話などがあり、そして13:30無事例会が終了いたしました。



千歳ロータリークラブ

9月24日

9月24日(木) ガバナー公式訪問が行われました。

10時から会長、幹事、会長エレクトと嵯峨ガバナー、坂井ガバナー補佐、長田地区幹事、中村地区幹事のご出席のもと会長・幹事懇談会が開催され、その後当クラブのクラブ協議会に出席頂き、各委員長から今年度活動方針、活動内容等について報告を行いました。嵯峨ガバナーから各委員会への講評を頂き、助言もいただきました。例会では、嵯峨ガバナーから世界ロータリーの現状、ポリオ撲滅に向けた活動などについて貴重な卓話をいただきました。



小樽南ロータリークラブ

9月25日

第6グループ最後の公式訪問と云うことで、9月25日(金) 例会場「ニュー三幸」にて嵯峨義輝ガバナーに齋田義孝第6グループガバナー補佐、長田正文地区幹事、菊谷昌泰地区幹事補佐をお迎えし、公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会には廣部会長、坂口幹事、福島ガバナー補佐事務局長、湊・石川両事務局長が出席。その後クラブ協議会へと移り各委員長より委員会活動方針の報告・委員長よりの質問をガバナーより卒直な感想と丁寧な説明をいただきました。

例会での講話の中で、当クラブの「未来を語る夢会議」今までに45クラブを公式訪問させていただきましたがこういう素晴らしい計画、之に基づくクラブ戦略・計画ははじめてとクラブレベルが高いと賛辞をいただき、最後にロータリーでもう一つ、家庭奉仕があるべきと思っています。まずは、家庭奉仕!と結ばれました。

嵯峨義輝ガバナーの穏やかなお人柄と、高い見識に触れることができましたことに心より感謝申し上げます。



北広島ロータリークラブ**9月29日**

9月29日(火) 嵯峨義輝がバナー、長田正文地区幹事、赤山登地区幹事、坂井治第7グループガバナー補佐をお迎えし、10時から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会、12時15分より例会と公式訪問を開催いたしました。

クラブ協議会では各委員会より活動計画の報告があり、ガバナーから少人数のクラブでも他のクラブと比べずクラブ独自の活動をまた、地域の人に今、必要なことは何か、ロータリアンとして何が出来るか、お金をかけず知恵を絞り、実行すること。それでこそ「四つテスト」の重要性と話されました。

例会の卓話では、会員増強、ポリオ撲滅活動、ロータリー財団についてまた、国際ロータリー情報、地区重点目標等、疑問点については丁寧にご説明くださいました。今後のクラブ活動の参考にさせていただきます。大変充実した、有意義な時間はあっという間に過ぎ、地区大会を控えての多忙な中、たくさんのご指導ありがとうございました。

**札幌はまなすロータリークラブ****10月6日**

10月6日(火) ガバナー公式訪問を祝うような澄み渡る秋空の下、嵯峨ガバナーと小山ガバナー補佐そして山本、赤山地区幹事をお迎え致しまして公式訪問が開催されました。

会長・幹事懇談会では当クラブの青少年奉仕で行っている少年野球「はまなすカップ」の奉仕活動や石狩地区における社会奉仕活動の「ふれ合い広場」の支援そしてクラブの現状についてご説明を致しました。嵯峨ガバナーからは会員数の少ないクラブながら、色々な奉仕活動に取り組んでいる状況に対しまして好評をいただくことと共に会員増強についての適切なアイデアとアドバイスを頂戴し非常に興味深いお話を聞くことが出来ました。その後のクラブ協議会では各委員長からの活動方針と活動計画を報告し嵯峨ガバナーからは積極的な活動の継続性を期待されると共に他のクラブの活動を参考にするためにもMy Rotaryの加入を当クラブに取り入れ更なる活動の糧となるよう助言を頂きました。例会においては、小山ガバナー補佐から他のクラブの状況などを聞き、当クラブのアットホームなムードの中、笑い溢れる例会となりました。嵯峨ガバナーからは100%の地区大会の登録について賛辞を賜り、そして山本、赤山地区幹事からは地区大会の大会成功の秘訣やご苦労など様々なお話を伺いながら和やかなムードで例会を終了致しました。色々なご苦労の中地区大会という一つの大きな山を超え清々しく笑う嵯峨ガバナーのお人柄にロータリーの輝きを再発見することが出来ましたことを会員一同感謝申し上げガバナー公式訪問の報告とさせていただきます。

**札幌大通公園ロータリークラブ****10月6日**

10月6日(火) 嵯峨ガバナー、佐藤泰彦ガバナー補佐、同行として山本地区幹事、赤山地区幹事を迎えてのガバナー公式訪問が行われました。午後5時から「会長・幹事懇談会」が開かれ、当クラブより会長、幹事、会長エレクトが出席して懇談会が行われました。

クラブの、現状、奉仕活動をご説明いたしました。クラブの会員数10月1日現在、男性12名、女性1名の計13名で活動しております。

特に奉仕活動については毎年夏に行われている大通公園でのポリオ街頭募金活動、秋の献血活動は会員全員が参加して活動している事を報告いたしました。会員の体を使った奉仕活動に感銘して頂きました。

嵯峨ガバナーからはポリオ募金について、ロータリークラブのポリオ募金の関わりビル&メリンダ・ゲイツ財団、ユニセフなどの非常に詳しい説明を頂き、全世界で1300万人の子供が命を救われたとの話を聞き、これからの会員増強に使えるなと思いました。又ガバナーはMy Rotaryへの登録推進をメンバーに伝えて、イメージ向上を図る、また少人数のクラブながら地区の委員会に3名の委員を輩出していることに謝意を頂きました。

6時30分より「ほっとパーティ例会」で受入留学生ケンドリック君の自己紹介もあり和やかな雰囲気終了しました。例会終了後に全員で記念写真を取り終了となりました。



江別ロータリークラブ**10月8日**

嵯峨義輝ガバナー、長田地区幹事、菊谷地区幹事補佐、当クラブ会員でも有る郷ガバナー補佐、佐々木ガバナー補佐代表幹事を迎え藤原会長、



笹浪会長エレクト、武田幹事、西岡副幹事、和やかな中で懇談会開催し、当クラブの紹介、特徴を会長より江別ロータリークラブは昭和37年2月3日(1962年)チャーターメンバー24名で北海道で36番目のクラブとして設立されました。本年度54年に成ります。設立30周年には94名、これを機にアディショナルクラブ江別西ロータリークラブをスポンサーし設立しました。現在31名。最高年齢85歳、最低年齢40歳、経験に富み、地域の主なる会員もおり、尊敬できる人間性をそなえた会員が多く居ます。会員同士の絆が強く団結力があり、2013-2014年度には安孫子ガバナーの下、地区大会を開催しました。

嵯峨ガバナーより会員にMy Rotary、会長・幹事にClub Centralを活用する様にと、お話を頂き活動する事を約束し、藤原会長活動方針の(1)会員増強と維持向上を上げ会員増強特別委員会設置、5名のメンバーで3名会員増強目指しスタートしました。会員から33名推薦してもらい、委員長、会長、幹事の3名で訪問し入会案内パンフレット、名刺で挨拶に伺い、不在の方には一筆を添えポストに投函、又は社員様に預けるといった事をし、後にお礼状を送封(お会い出来た方・留守の方)2種類製作し、さっそく1名の入会があり、ガバナー公式訪問の日に入会式を行いました。(2)ポリオ撲滅へ指定・ロータリー財団寄付・米山記念奨学寄付。(3)地域社会に応える奉仕活動、介護用電動ベッド贈呈・来年3月に129年の歴史を閉じる江別小学校最後の思い出作りに、江別小学校ニューイヤーフェスティバルを来年1月に参加協力し移動例会を行う。(4)会員相互の親睦交流、今年度は7回の移動例会を開催する。

懇談会を終え、協議会に移り各委員会より活動計画、活動報告、入会3年以内会員紹介、後例会と入りガバナーより卓話で公式訪問の総評でアドバイス、会員増強のプロセスを大変良いと評価頂き大変嬉しく、公式訪問を終えました。

ガバナーの気さくな人柄に親しみを感じとても充実した公式訪問、ありがとうございました。

三石ロータリークラブ**10月19日**

10月19日(月)、嵯峨義輝ガバナー、齋藤聡地区幹事、菊谷昌泰地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。



午前10時からの「会長・幹事懇親会」には次期会長も同席し、ガバナーと当クラブ会長は渡邊ガバナー年度のガバナー補佐同期であり、和やかにクラブの状況、活動概要、課題、運営方針等を話し合いました。

引き続き午前11時からの協議会では、各委員長より活動計画、実績を説明し、これらの説明に対して嵯峨ガバナーは「Eクラブの参加」「My Rotaryへの加入」「地区補助金の活用」等のアドバイスをお与え下さいました。

正午より食事と親睦の時間とし、午後12時30分よりの例会には嵯峨ガバナーからRI会長並びに理事選出の仕組等、幅広く深い講話をいただきました。例会終了後、嵯峨ガバナーを囲んで記念撮影を行い公式訪問を終えました。

ロータリー、 来し方行く末

連載 第4回

続・ついにやって来た 職業奉仕の終焉

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房 樹
(札幌東RC)



先月の月信で、ラビンドラン会長の方針により職業奉仕は過去のものになってしまったことをお伝えしました。それでは職業奉仕は本当にこれからの新しい時代には無用の長物なののでしょうか。歴史を振り返ってみると、すべての歴史上の諸制度は因縁あって栄え、そして因縁あって滅びると申します。ロータリーもその例外でなく、職業奉仕の精神があつてこそ栄えてまいりました。

まず1930年から1945年にかけてロータリーはアメリカ社会から絶大な尊敬と信頼の目を持って迎えられました。何か確固とした実践の軌跡を残したに違いありません。

一つは1929年、アメリカに端を発した世界大恐慌の時に、当時のシカゴのほとんどの企業、商店は倒産して市民達も一夜で職を失い、家を失なってしまいました。その中でロータリーの職業奉仕の訓えを守っていたロータリアンたちは、何とか倒産を免れていました。これを知ったシカゴの市民はロータリーの職業奉仕の哲学は、「不況に強い哲学だ」という評判を立てたのであります。これによって、ロータリーは一気に有名になります。ロータリーに入りたいという人がどんどん増えてまいりました。これによりロータリーは隆々と栄え興隆期を迎えました。

二つ目は、アメリカは民間主導の福祉社会だから、労力と時間を割いてボランティア活動をするということはアメリカの国民にとって当然のことであり、別に尊敬と信頼の目を持って迎えられるということはありませんでした。またロータリーが為すべきことでもなかったでしょう。ではいったい職業倫理の提唱団体として具体的に何をしたのでしょうか。ロータリーが出来た時アメリカの経済社会に、同業組合は1つもありませんでした。これを当時のロータリアンたちは、自分の業界に作っていきました。

公共に奉仕する現代の「ギルド」の復活です。このことは商工会議所を、倫理を提唱する団体として蘇らせました。ロータリアンの数だけ同業組合が組織され、商業道徳の高揚は著しいものがありました。この結果ロータリーに対するアメリカ社会の信用が高まり、ロータリーは爆発的に発展するようになりました。この二つはロータリーの職業奉仕がアメリカ社会に残した最大の功績なのです。

しかし1947年ポール・ハリスの死が歴史の分岐点となりました。その年、RIの職業奉仕委員会は廃止され事実上職業奉仕という言葉は死語となりました。

そして始祖の死を悼みポール・ハリス・フェローに莫大な寄付が寄せられました。これにより30年間資金不足で開店休業であったロータリー財団が甦りました。財団が事業を展開するようになった結果、ポールの死後ロータリーの目指す方向が職業奉仕から財団主体の奉仕へと変わりました。この時からRIは人類の続く

限り、一人でも施主の多からんことを望み、1\$でもお布施を増やし、限りなく永遠に金をつぎ込んでいかねばならぬ「火の車」からおりられなくなりました。

プロテスタントの職業天職論が、日本の伝統的職業観と見事に共鳴して、私たちの先輩は熱狂的にロータリーを信奉しました。職業奉仕こそロータリーの金看板だ、などというのは日本の風土が生んだ言葉です。このように職業奉仕は、日本のロータリアンにとって普遍の真理なのです。

今年度のラビンドラン会長の方針により、職業奉仕は終焉を迎えました。しかし我々日本のロータリアンは、ロータリーをロータリーたらしめているDNA、つまり、ロータリーの本質と存在理由を大切にしてくかねばなりません。「ロータリーのDNAは何か」という問いの答えを明確に理解することです。

それはあくまでも個人の規範である職業奉仕への献身を絶対に見失わないことです。ここで大切なのは「時代に即すことと、妥協することは違う」ということです。時代に即すためにその組織のDNAをあつさり捨ててしまうような組織は長続きしません。信じる土台がなければ、たやすく流されてしまいます。

ロータリー運動とは、慈善団体、寄付団体ではありません。奉仕とは相手の不幸を自分の不幸としてとらえる純度の高い心の境地のことを云います。

自らの存在理由を見失い、代わりにボランティア団体として自らを定義しようとしたときに、RIという組織は、組織の構成員であるロータリアンとの関連性を失い迷走するでしょう。

先月の月信で、職業奉仕はロータリーの「アルファでありオメガ」(※ヨハネの黙示録)であると書きました。アルファとはギリシャ語アルファベットの最初の第1字、オメガとは最後の文字を表します。アルファでありオメガであるとは、事の始まりであるとともに事の究極であるという意味になります。

職業奉仕はロータリーのアルファでありオメガであるということは、職業奉仕はロータリーの始まりであるとともにその行き着く究極である、すなわち、ロータリー運動にとって職業奉仕は「全て」であり「普遍」であるという意味です。

ロータリアンが自分の職業に誇りを持ち、自分の職業を通じて地域社会に奉仕するという基本的態度をとりながらも、本質的にはロータリー運動は国境を越え、人間を人間として結び付け助け合うようにさせるものです。

我々のクラブには自治権があり、RIはロータリークラブの集合体にしかすぎず、上命下服の関係ではないことは当然であります。しかしだからと言って我々はエバンストンでの出来事に無関心であっていいのかという問いかけを私はしたいのです。

職業奉仕は日本のロータリアンの精神的支柱であり、日本ロータリーのアイデンティティーです。我々は職業奉仕の精神を堅持しつつRIの方針に協力してゆく道を探りましょう。

5年ぶりの地区大会雑感

元地区国際奉仕委員長

青木 功 喜 (札幌東RC)

抗癌療法のため休んでいた地区大会に5年ぶりに出席しました。岩見沢市での30年ぶりの大会は、入会5年目にロータリアンとして出席した頃を思い出しながら、岩見沢の地に癒しを求め、札幌インナーホイールクラブ(IWC)の妻とその仲間と出席しました。

市民会館の四階では、札幌市内の多くのロータリアンと久しぶりに交流が出来ました。四階から1階のステージがあまり良く見えないので、片目ずつ見てみると左視力が落ちている事に気がつき、ショックでした。我が国では0.1刻みの視力検査が普及していますが、欧米では0.1、0.4、0.7の検査で充分とされています。軍医総監であった石原忍元東大教授が徴兵検査の甲乙丙の基準にしたこの視力検査は、今でも続いております。しかし最近では運転免許更新時には四段階の視力検査に代わっています。

私が高校に入学した昭和25年には新学制のため盛岡中学から男女共学の盛岡一高に変わり、先輩達は伝統が消えると嘆いたものでした。我がクラブにも岩見沢中学に進学したのに女子高校であった岩見沢東高校での卒業を悔やんでいる会員がいます。RIは1989年女性に開放されました。しかし女性会員の頻度はこの26年間で米国27.9%、日本5.3%に過ぎません。

一方欧州では1949年にロータリアンの夫人達がIIWを創立し、この66年間に100カ国以上の国が参加する世界で最も大きな女性の組織になり、近年RIはロータリーファミリーとして公認しました。文化の違う国において、ロータリアンの夫を理解して、協力しようと言うのがIIWです。米国に始まったRIですが、欧州の国々では、各々の文化に自然に適応しながら育っています。

時代と共に男女の関係も変化しています。欧州と同様長い歴史の我が国の文化の中で生まれ、16年目を迎える、国内唯一つの札幌インナーホイールクラブを紹介しました。

広報委員会よりお知らせ



国際ロータリー第2510地区の 動画チャンネル公開中！

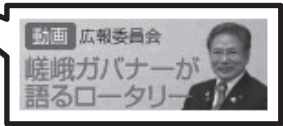


『嵯峨ガバナーからのメッセージ』が配信されています、どうぞご覧ください



【ホームページアドレス】 rid2510.org

または で



ホームページ右列にあるバナーからご覧ください。



スマートフォンからご覧になる場合には
こちらのQRコードをご利用ください。



ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END
POLIO
NOW

野生型ポリオ症例数

2015年10月19日現在

ポリオ	国	2015年10月14日	2014年同時期	2014年度合計	麻疹が発生した最後の年月日
常在国	パキスタン	38	205	306	2015年9月16日
	アフガニスタン	13	12	28	2015年9月6日
常在国 以外	ナイジェリア	0	6	6	2014年7月24日
	ソマリア	0	5	5	2014年8月11日
	赤道ギニア	0	5	5	2014年5月3日
	イラク	0	2	2	2014年4月7日
	カメルーン	0	5	5	2014年7月9日
	シリア・アラブ共和国	0	1	1	2014年1月21日
	エチオピア	0	1	1	2014年1月5日
世界合計		51	242	359	

【ナイジェリアがポリオ常在国から削除されました】

ナイジェリアはもはやポリオ常在国で無くなったことが、9月25日 WHOから発表されました。アフリカ地域はポリオフリーに向け一歩前進です。残りは、パキスタン、アフガニスタンの2ヶ国になりました。2012年ナイジェリアは、世界のポリオ発症数の半数を占めていました。以来、ナイジェリア政府、市民社会、宗教指導者、医療従事者など数万人が全てのレベルで協調努力し、20万人のボランティアは、4500万の幼児に繰り返しポリオワクチン接種活動を行いました。国家緊急オペレーションセンターなどの革新的なアプローチはナイジェリアの成功に極めて重要な役割をしました。ナイジェリアのポリオが再発しないよう、継続的な予防接種、監視・警戒が必要です。監視により、ウイルスの再発生を迅速に検出し、対応を的確に行わなければなりません。3年間ポリオ無発症が確認されるとアフリカ地域でポリオ撲滅が宣言されます。

【私たち会員の寄付した資金はこの様に使われています IV】

GPEI (ポリオ撲滅イニシアティブ) は、2013～2018年までに必要とされる資金を発表しています。

単位:百万ドル

予防接種活動	2,600
監視と反応行動能力	688
ポリオウイルス封じ込め	49
WHOやユニセフへの技術支援	1,844
間接費用	343
支出合計	5,525
寄付実績	1,986
寄付見込み額	3,045
不足金額	494

※寄付見込み額が達成されても、まだ約5億ドルが不足します。

○当委員会は、本年度ポリオプラス寄付目標であります会員一人30ドルを達成したクラブに対しても、クラブ表彰等を考えております。(会員数は期首会員数といたします)

○ポリオプラス委員会へのお問い合わせは地区ホームページ右側、ポリオマークの下より!

文庫通信



(337号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演 他

[下記申込先: ロータリー文庫]

「中国の大問題と日本の将来」 丹羽宇一郎 2015 10p (D.2760地区大会記録誌)

「和魂和才・すこやかに生きる漢方の知恵」 寺澤捷年 2015 11p (D.2690地区大会記念誌)

「21世紀に求められるリーダーとは」 葛西敬之 2015 9p (D.2630地区大会記録誌)

「目標達成のセルフマネジメント イチロー、田中将大が実践する自分力の育て方」 奥村孝治 2015 15p (D.2550地区大会記念誌)

「環境革命の時代に神奈川を考える」 涌井雅之 2015 13p (D.2590地区大会の記録)

「シェルドンに学ぶロータリーの活性化」 小船井修一 2015 9p (D.2630地区大会記録誌)

「ロータリーの歴史とその心」 三木 明 2015 10p (D.2840地区研修・協議会報告書)

「里はまだ夜深しー江川英龍」 橋本敬之 2015 4p (米山梅吉記念館館報)

「『運命の一日』東郷平八郎の決断(前後編)」 岡村 健 2014 9p (福岡南RC月報)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2018-2019年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 嵯峨義輝
地区ガバナー指名委員長 細川好弘

2018-2019年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

～米山奨学生のご紹介～

黄于庭 コウ・ウテイ (札幌東RC)

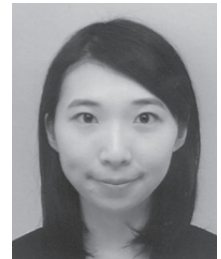
台湾から来ました黄于庭です。今は北海道大学医学研究科博士4年生です。日本に来て7年目になりました。

奨学生としては二年目になりましたが、まだロータリーのことは詳しいとは言えないと思います。例会でいろんな話が聞けることができ、ロータリアンたちの職業がさまざまなので、毎回到新しいことを勉強できます。また、今年の研修旅行に参加して本当に奨学生になれて幸せだと思っています。実は、奨学生たちが所属しているクラブが別々になっているので、あまり交流などの機会がありません。ですから、面識はあるが名前を呼ぶことができませんでした。今回の研修旅行を通じて、奨学生たちの間に親しくなって、ロータリアンたちとの交流も深くなりました。



今の私は、どこの国に行っても友達がいると言えます。奨学生でも、ロータリアンでも、たくさんの人と出会えるのは米山奨学生になって一番大事なことだと思っています。このことは今後の人生に大切な宝物になると思います。

これからもどうぞよろしく願いいたします。



お詫びと訂正

ガバナー月信10月号14頁に掲載の「米山奨学生のご紹介」でクーン・トビアスさんの世話クラブが(室蘭東RC)となっておりますが、正しくは(新札幌RC)でした。謹んでお詫び申し上げますと共に訂正させていただきます。

新会員の紹介 (敬称略)



小樽南RC
地山 敬胤
9月25日入会
仏教



札幌北RC
徳物 文雄
9月28日入会
レストラン



滝川RC
中野 等
10月1日入会
税理士



滝川RC
佐藤 邦弘
10月1日入会
電力業



砂川RC
村山 淳
10月1日入会
電気事業



倶知安RC
中田 宏見
10月1日入会
電力供給



苫小牧RC
高橋 豊
10月2日入会
電力事業



小樽RC
松本 京子
10月6日入会
訪問歯科



小樽RC
安田友美子
10月6日入会
介護老人保健施設



苫小牧北RC
外館 清香
10月13日入会
社会保険労務士



岩見沢RC
井出 博基
10月15日入会
電気供給



札幌北RC
八森 恵一
10月19日入会
税理士

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り申し上げます。



広瀬 清 名誉会員 (札幌東RC)
2015年9月8日ご逝去 (享年88歳)
【ロータリー歴】
1974年1月10日 入会
1981~1982年度 職業奉仕委員長
1991~1992年度 ロータリー財団委員長
1995~1996年度 広報委員長
米山功労者マルチプル(8回)
ロータリー財団メジャードナー



小原 健榮 会員 (恵庭RC)
2015年9月18日ご逝去 (享年81歳)
【ロータリー歴】
1971年12月 入会
1978~1979年度 クラブ会長
米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

地区カレンダー (11月・12月)

11月 ロータリー財団月間	
1 (日)	米山学友会総会・家族懇親会 (札幌)
2 (月)	
3 (火)	文化の日
4 (水)	公式訪問 (砂川RC)
5 (木)	公式訪問 (滝川RC)
6 (金)	
7 (土)	～8 (日) 北海道ローターアクト交流会 (札幌)
8 (日)	
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	公式訪問 (恵庭RC)
12 (木)	公式訪問 (芦別RC)
13 (金)	公式訪問 (苫小牧RC)
14 (土)	
15 (日)	千歳セントラルRC創立25周年記念式典 (千歳)
16 (月)	
17 (火)	公式訪問 (札幌西RC)
18 (水)	公式訪問 (札幌RC)
19 (木)	公式訪問 (美唄RC)
20 (金)	
21 (土)	第3グループIM (江別)
22 (日)	
23 (月)	勤労感謝の日
24 (火)	公式訪問 (岩見沢東RC)
25 (水)	公式訪問 (栗沢RC)
26 (木)	公式訪問 (岩見沢RC)
27 (金)	
28 (土)	第10・11グループ合同IM (函館)
29 (日)	
30 (月)	

12月 疾病予防と治療月間	
1 (火)	ロータリー財団地域セミナー (東京)
2 (水)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会(東京)
3 (木)	～4 (金) ロータリー研究会 (東京)
4 (金)	
5 (土)	
6 (日)	
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10 (木)	
11 (金)	
12 (土)	
13 (日)	
14 (月)	
15 (火)	地区ガバナー指名委員会 (札幌)
16 (水)	
17 (木)	
18 (金)	
19 (土)	
20 (日)	
21 (月)	
22 (火)	
23 (水)	天皇誕生日
24 (木)	
25 (金)	
26 (土)	
27 (日)	
28 (月)	
29 (火)	
30 (水)	
31 (木)	

2015年11月のロータリーレート 1ドル 120円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.9.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	34	36	2	3	85.08
	羽 幌	4	43	46	3	2	72.28
	妹背牛	4	11	11	0	0	84.09
	留 萌	3	38	40	2	3	81.67
	小 計		126	133	7	8	80.78
2	赤 平	4	26	26	0	0	72.30
	芦 別	4	37	37	0	2	73.47
	砂 川	4	37	38	1	0	95.39
	滝 川	4	78	81	3	4	78.00
	小 計		178	182	4	6	79.79
3	美 唄	4	32	32	0	0	89.06
	江 別	4	31	31	0	1	80.83
	江別西	4	26	26	0	3	83.70
	岩見沢	4	73	74	1	0	89.17
	岩見沢東	4	22	22	0	3	75.26
	栗 沢	4	22	22	0	1	96.60
	栗 山	4	22	24	2	5	96.00
	当 別	4	27	28	1	1	80.36
	小 計		255	259	4	14	86.37
4	札 幌	4	117	126	9	0	98.34
	札幌はまなす	4	16	16	0	2	81.25
	札 幌 北	3	34	37	3	3	93.39
	札幌モーニング	4	39	39	0	0	79.43
	札 幌 西	4	51	51	0	8	82.40
	札幌西北	3	32	32	0	3	82.30
	札幌手稲	4	37	39	2	4	86.84
	小 計		326	340	14	20	86.28
5	札 幌 東	3	122	124	2	0	95.37
	札幌清田	4	16	16	0	4	100.00
	札幌幌南	3	70	70	0	14	100.00
	札幌真駒内	4	24	24	0	4	100.00
	札 幌 南	3	79	80	1	0	99.58
	札幌大通公園	4	13	13	0	1	63.46
	新 札 幌	4	24	24	0	3	85.34
小 計		348	351	3	26	91.96	
6	岩 内	4	19	21	2	1	74.70
	倶知安	4	39	39	0	5	69.20
	小 樽	4	74	73	-1	0	87.24
	小樽南	4	73	74	1	2	89.80
	小樽銭函	5	19	19	0	1	85.00
	蘭 越	3	10	10	0	0	100.00
	余 市	4	48	48	0	5	68.40
	小 計		282	284	2	14	82.05

9月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,592人(134人)
	増加会員数	66人
	当月平均出席率	83.25%

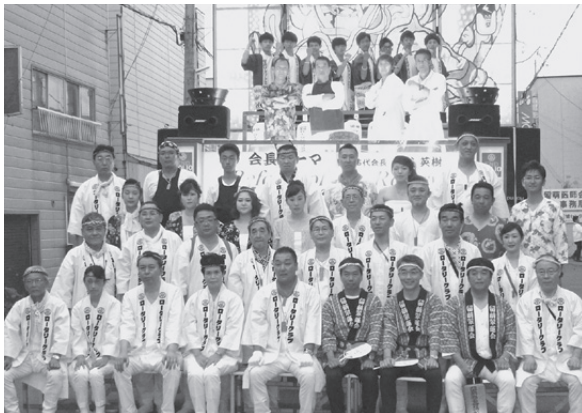
グループ	クラブ名	例数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2015.9.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	54	57	3	4	93.23
	千歳セントラル	3	38	38	0	4	80.70
	恵 庭	4	46	49	3	2	84.27
	北 広 島	4	17	18	1	1	86.11
	長 沼	3	19	19	0	3	75.00
	由 仁	4	8	9	1	0	77.78
小 計		182	190	8	14	82.85	
8	えりも	4	18	19	1	1	96.05
	三 石	3	13	13	0	1	64.93
	様 似	4	21	21	0	1	73.81
	静 内	4	64	67	3	1	90.35
	浦 河	4	22	23	1	0	84.48
	小 計		138	143	5	4	81.92
	9	伊 達	4	55	56	1	0
室 蘭		4	30	36	6	0	76.29
室蘭東		4	34	35	1	0	86.40
室蘭北		4	40	39	-1	3	73.08
登 別		4	32	32	0	1	84.38
洞 爺 湖		3	9	9	0	0	100.00
小 計		200	207	7	4	84.73	
10	函 館	4	82	86	4	1	76.05
	函館亀田	3	41	41	0	4	81.20
	森	4	33	35	2	0	89.30
	七 飯	4	17	17	0	0	71.00
	長万部	3	8	8	0	0	79.20
	函館セントラル	3	22	22	0	2	75.32
	小 計		203	209	6	7	78.68
11	江 差	4	12	12	0	1	54.00
	函館五稜郭	4	51	51	0	0	83.82
	函 館 東	4	47	48	1	5	75.28
	函 館 北	4	21	21	0	0	95.12
	北 斗	4	13	14	1	0	69.00
	松 前	2	4	4	0	0	75.00
小 計		148	150	2	6	75.37	
12	白 老	4	33	33	0	2	76.00
	苫小牧	4	51	54	3	2	75.27
	苫小牧東	4	27	28	1	6	90.18
	苫小牧北	4	29	29	0	1	91.16
	小 計		140	144	4	11	83.15
合 計		2,526	2,592	66	134	83.25	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員9名)を含む

第1グループ各クラブ紹介 / 表紙の解説

第1グループ内4クラブの活動概要を紹介します。

- **深川クラブ**は、青少年に関するプログラムの一つとして、「ふかがわプレーパーク（冒険遊び場）」に継続的に協力参加している。この活動は、子どもたちが自分の責任で、自由に遊ぶをモットーにし、「事故が起きても自分の責任」ということを十分理解して、子どもに自由な遊びを体験させている。
- **妹背牛クラブ**は、救急リレーバトンを65歳以上の高齢者世帯を対象に配布しており、あらかじめ病歴や普段の健康状態、緊急の連絡先などを記入したカードを冷蔵庫に保管しておき、緊急医療の際に医療従事者に必要な情報を伝えることができる、というものである。



- **羽幌クラブ**では、羽幌川の河川切り替えによる跡地に、道北本来の自然環境を復元し、生物多様性を確保することを目指し、ピオトープ（生き物がありのままに生息活動する場所）づくりに協力参加している。また、新事業として、天売島・焼尻島の海岸清掃ボランティアの実施に向けた調査・研究を始める。
- **留萌クラブ**は7月25日、留萌最大のイベント留萌^{どんと}呑涛まつりに参加した。クラブ所有の大型の行灯^{あんどん}を念入りに補修や手入れをして、当日はやん衆あんどん例会とした。また、沿道の子供たちにはポリオ撲滅のラベルを貼ったお菓子を配布した。

(表紙写真)

